

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月16日
事業名	邸園文化圏構想推進事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	24
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	神奈川県が進める「邸園文化圏再生構想」の取組の一つとして、NPO法人等が邸園所有者及び県、町と協働して実施する「パートナーシップ邸園事業」を行い、邸園の価値の普及と啓発及び邸園文化を創造し発信するため				
対象 (誰を・何を)	大磯町観光協会の主催事業による参加者				
内容	パートナーシップ庭園事業補助金交付要綱に基づいて、大磯町観光協会に補助金を交付し、邸園文化交流事業を実施 (安田邸十五夜観月会、邸園文化を支えた大磯宿歴史と味の散歩道、安田邸お茶会、伊藤博文ゆかりの大磯巡り)				
根拠法令・条例等	パートナーシップ邸園事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	700	562	600
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	700	562	600
	職員人数 (概算職員数)	人			0.09
	人件費計 (b)	千円			552
総事業費 (a)+(b)	千円	700	562	1,152	
事業費内訳 H 25 年度	パートナーシップ邸園事業補助金：600千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 動員目標人数	人	752	748	616
	② 事業開催予定日数	日	9	7	9
活動指標 (活動量)	① 参加人数	人	654	444	—
	② 事業開催日数	日	9	6	—
成果指標 (達成度等)	① 参加人数	%	87	59	—
	② 事業開催日数	%	100	85	—

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	社団法人大磯町観光協会は邸園所有者との関係が構築されており、他団体の協力を得ながら事業実施を円滑に実施する組織である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	邸園所有者の協力の下、多くの来町者に町の邸園文化に触れていただき、邸園所有者にはCSR（企業の社会貢献）の一翼ともなっており手段は妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	実施されている邸園での交流事業にはリピーターも多く事業が定着化していることから一定の成果を得られている。しかし、屋外での事業ということもあり、天候等による影響も受けやすい。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	社団法人大磯町観光協会への交付金であり、要綱に基づき、適切に支出されているため。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	事業内容の低下にならない程度で、コスト削減が取り組まれている。併せて町の補助金額も削減されている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 「観光の核」として実施する事業との関係について、検討する必要がある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	新たな観光の核づくり事業と連携し、より多くの来町者に、大磯の邸園文化に触れていただく。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成25年度の実績報告を検証し、適切な交付金支出に努めると共に、新たな観光の核づくり事業との連携により、魅力的なイベントを開催し、来町者の増につなげる。